

【総合的な学習の時間】 No.1 人とつながる力

# マナーって何？

## ねらい

- ◆ マナーとは何かを、ロールプレイをすることで感じ取り、マナー違反と法律違反との違いからマナーの本質を考える。
- ◆ 自分の意見と違う友だちの意見を受け止め、理解する。



3つの力のうちの【人とつながる力】

## リテラシー

- ロールプレイング

## 授業の流れ

## マナーって何？

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
10分	<p>○教師によるモデリング</p> <p><b>個人で考える</b></p> <p>「通りすがりにかばんをぶつけちゃった。」 5つのパターンをロールプレイングする</p> <p>a) ぶつかったまま知らん顔をする b) ぶつかった相手をにらみつける c) ぶつかった相手をにらみ、舌打ちをする d) ぶつかった相手に頭を下げる e) ぶつかった相手に頭を下げ、あやまる</p>	<p>●役割</p> <p>A ぶつける役 B ぶつけられる役</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・生徒全員が観察者a)～e)のそれぞれのモデリングを見てどう感じたかを発表する。 ・ひとつひとつのパターンについて生徒が感じたことを拾い上げ黒板に書き出す。</p> </div>	<p>★2人の教員でモデリングするなどの工夫があるとよい</p> <p>★感じの悪い行為は感じ悪く、感じの良い行為は良い感じで演じる</p> <p>★5つのパターンはフリップに</p>
35分	<p>○自分だったらどうする？</p> <p><b>ペアで考える(交流)</b></p> <p>(1) 班の中でペアになり、自分だったらどうするか考える (2) 班の中で発表して感じたことを出し合う</p> <p>○クラスで発表</p> <p>(1) 班の代表ペアが前に出て、全員の前でロールプレイングをする (2) a)～e)を感じの悪い順に並べかえ、マナー違反の境目を考える</p> <p>○マナー違反と法律違反</p> <p>(1) マナー違反と法律違反を考える ワークシートのそれぞれのケースがマナー違反にあたるか、法律違反にあたるか考える (2) マナーって何？ マナーとは何かを自分の言葉であらわす</p>	<p>●できるだけ、2人が雰囲気よく進められるようなロールプレイングを考えよう!</p> <p>●生徒が感じたことを拾い上げ、全体化する</p> <p>●法律違反の明確な基準を示す</p>	<p>★マナーにおける基本が分かるような演技になるのが望ましい</p> <p>★生徒が考えた内容を板書</p>
5分	<p>○マナーとは何か、この授業で考えたことについて意見をまとめる</p>	<p>●意見を記入させた後、何人かの生徒の意見を聞き、交流する</p>	

準備

◆ フリップ5枚

ゲスト

板書の例

『マナーって何？』

- a) ぶつかったまま知らん顔をする
- b) ぶつかった相手をにらみつける
- c) ぶつかった相手をにらみ、舌打ちをする
- d) ぶつかった相手に頭を下げる
- e) ぶつかった相手に頭を下げ、あやまる

どう感じた？

※  
※  
※  
※  
※

どこからがマナー違反？ 並べかえて境目をつけよう

感じ悪い

?)

?)

?)

?)

?)

感じ良い

参考資料

# マナーって何？

1 5つのパターンを見て、感じたことを書いてみよう。

a) ぶつかったまま知らん顔をする

b) ぶつかった相手をにらみつける

c) ぶつかった相手をにらみ、舌打ちをする

d) ぶつかった相手に頭を下げる

e) ぶつかった相手に頭を下げ、あやまる

2 自分だったらどうする？ セリふと行動を考えよう。

AのかばんがBにぶつかりました。

A	せりふ	)	行動	_____
B				せりふ
			反応	

3 各班の発表で感じたことを書いてみよう。

\_\_\_\_\_ 班 \_\_\_\_\_



【総合的な学習の時間】 No.2 社会に参画する力

# 自転車放置問題を考える

**ねらい**

- ◆ 自転車の放置問題から「政策の本質」を学び、自発的に活動するボランティア精神の大切さに気付く。
- ◆ 自転車の放置問題から、社会のしくみや自分の生き方について考える。



3つの力のうちの【社会に参画する力】

**リテラシー**

- プレゼンテーション
- ブレインストーミング

**授業の流れ**

自転車放置問題を考える

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
5分	○政治と税金の関係 A市の年間予算	●政治＝税金の使い方 1人あたり40万～50万円 投資していることになる  ・時間があれば各分野への予算配分を 考えさせる	★インターネットなどで当該 市の予算書(一般会計歳 入・歳出決算書)等を 入手しておく
40分	○自転車放置問題はなぜ「問題」なのか <b>班でブレインストーミング</b> (1) 駅前に放置されている自転車で困ったこと (2) 班ごとに発表 (3) A駅の放置自転車の実態について 放置自転車の実態の予想 放置自転車撤去にかかる費用	●班でブレインストーミング <b>・たくさん考えさせる</b> ●黒板に書き出していく ●A駅の乗降者数	★ふせん、画用紙(模造紙)、 のり等を準備  ★時間があればA駅に 電話で問う
	○地元の自治体の自転車放置問題について (1) 放置自転車の実態、放置台数 (2) 放置自転車撤去について 撤去・処分にかかる費用  ○自転車放置問題の解決に向けて (1) 解決に向けた具体的方法 (2) その方法による効果 (3) どれだけの予算が必要か  ○班ごとのプレゼンテーション	●ゲストティーチャーから ●黒板に書き出していく ●撤去費用を想像させる  ●まず、個人で考え、班で交流させる	★行政の自転車放置問題担当 部署の方、または、駅周辺の 問題に詳しい方が適当  ★行政的、対処的な問題解決 のとらえ方から、一人ひとり の心がけや自覚の問題(ボ ランティア的な考え)につな がるように導く
5分	○この授業で考えた自転車放置問題 について意見をまとめる	●意見を記入させた後、何人かの 生徒の意見を聞き、交流する	

## 準備

- ◆ 当該市町村の一般会計歳入・歳出決算書
- ◆ ふせん、画用紙（模造紙）、のり等

## ゲスト

- ◆ 当該市町村の自転車放置問題担当部署の方、または駅周辺の問題に詳しい方

## 板書の例

### 自転車放置問題を考える

政治＝税金の使い方 を考えるものである

A 駅の 1 日の乗降者数

公営や民間の自転車保管場所の保管可能台数  
放置される台数、撤去するのに必要な費用（1 台あたり）

いかに自発的に行動してもらうか  
自発性を養うための政策とは？

## 参考資料

一般会計歳入・歳出決算書の実物

# 自転車放置問題を考える

1 一人ひとりのために使われている税金

1人あたり  万円

2 放置自転車はなぜ「問題」なのか、考えられる理由をあげてみよう。

-----  
-----  
-----  
-----

3 自転車放置問題を知ろう。

(1) 駅前に乗り入れられる自転車台数	1日	台
(2) 駅前駐輪場の駐輪可能台数	1日	台
(3) 駅前に路上放置されている自転車台数	1日	台
(4) 撤去される放置自転車台数	年間	台
(5) 所有者が引き取る台数	年間	台
(6) 処分される台数	年間	台
(7) 有効活用される台数	年間	台

4 地元の自治体の自転車放置問題についての政策を知ろう。

(1) 1日の自転車駐輪代金	1台	円
(2) 撤去された自転車の保管料	年間	円
(3) 駐輪関係の予算	年度	円



【総合的な学習の時間】 No.3 未来を設計する力

# 住んでいるまちの付加価値を考えよう！

**ねらい**

- ◆ 身近にある商品の付加価値やしぐみについて理解する。
- ◆ 住んでいるまちの価値に気づき、活性化を図る手段を考察し、論理的に発表する。



3つの力のうちの【未来を設計する力】

**リテラシー**

- ブレインストーミング
- プレゼンテーション

**授業の流れ**

住んでいるまちの付加価値を考えよう！

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゴムを使っているものをあげてみよう</li> <li>○ 輪ゴムの価格について計算してみよう</li> </ul> <p><b>個人で考える</b></p> <p>ゴムのできている物をたくさんあげる 1箱100円の輪ゴムにいくつの輪ゴムが入っていて、1本いくらか予想させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身の回りをながめさせ、様々なゴム製品に気付かせる</li> </ul> <p>・消しゴム、シューズの靴底など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1箱100円の輪ゴム ⇒ 何本ある?: 300本以上 ⇒ 1本1円以下: 低い付加価値</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 100円ショップ等でゴム製品を用意</li> <li>★ 同じ値段では、付加価値の高いものほど、数が少ない</li> </ul>
35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゴム会社の社長だったらどんな工夫をしてゴムを売るか考えてみよう</li> </ul> <p>「改良」、「代替」による方法</p> <p><b>個人で考える</b></p> <p>ブレインストーミング</p> <p><b>グループで考える(交流)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住んでいるまちで付加価値の高い商品・サービスを生み出している企業の紹介</li> <li>○ まちを活性化するための商品・サービスを考えよう!</li> </ul> <p><b>個人で考える</b></p> <p>① 企画名 ② 商品・サービス、ターゲット</p> <p><b>グループでプレゼンテーション(交流)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 班に分かれ、ブレインストーミングをさせ、交流させる</li> </ul> <p>・すでにゴムを使っている商品を改良する方法は? ・ゴムを使っていないものにゴムを使用したら?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 何をやっている会社で、商品はどんな付加価値がついているかを分かりやすく伝える</li> </ul> <p>ゲストのプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● まちの付加価値を考える</li> </ul> <p>1) 企画名(付加価値をアピール) 2) 商品・サービス 3) 企画の強みや付加価値</p> <p>相手に分かりやすく納得・共感するように論理的に説明するように伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ ブレインストーミングの説明</li> <li>★ 意見を手際よく交換するために、司会者を決めるとよい</li> <li>★ ゲストのプレゼンテーションは短時間にする</li> <li>★ 企画のインパクトを高めるタイトルやネーミングを決める</li> </ul> <p>この授業の目的は正解を出すことなく、論理的に考えたことを相手に分かりやすく伝えること</p>
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ この授業で考えた付加価値について意見をまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 意見を記入させた後、何人かの生徒の意見を聞き、交流する</li> </ul>	

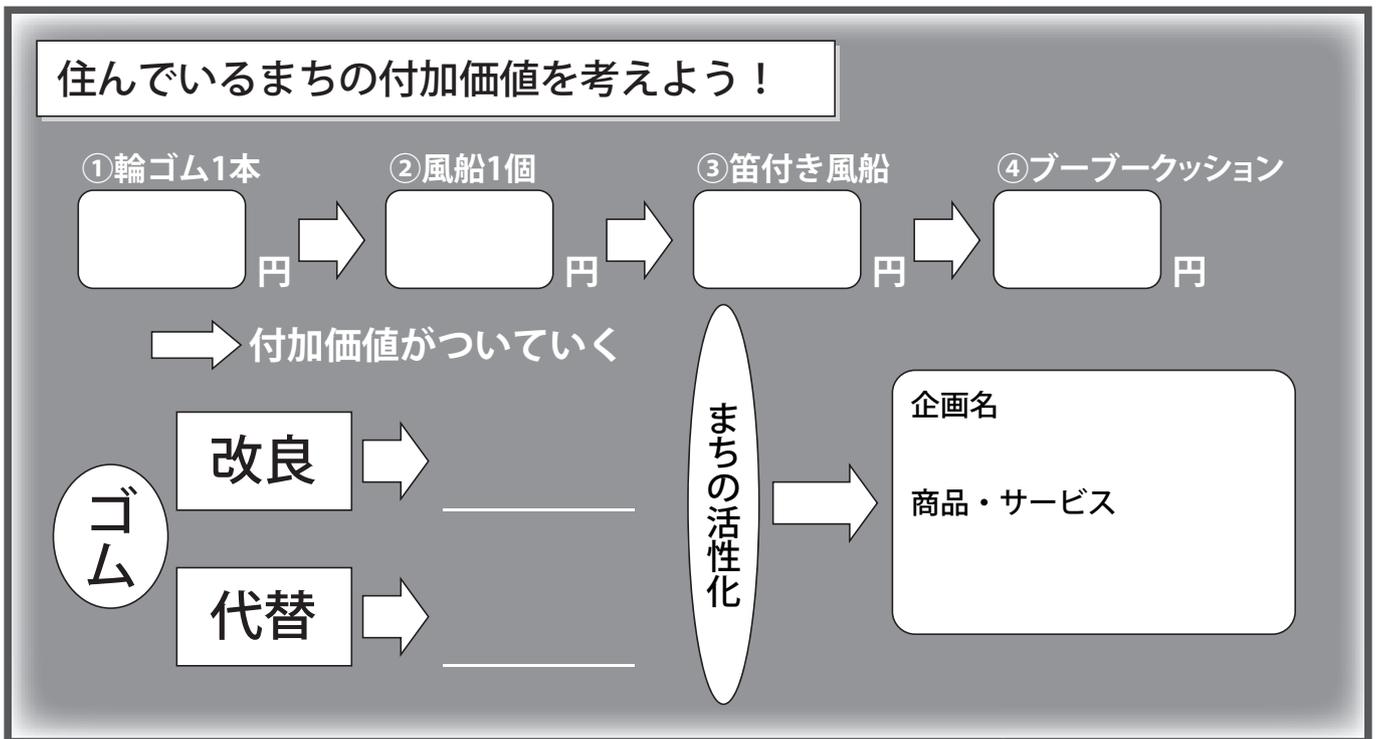
準備

- ◆ ゴムが使われている製品  
(輪ゴム1箱・風船・笛付き風船・ブーブークッション等)

ゲスト

- ◆ 住んでいるまちの「付加価値の高い」商品やサービスを提供している会社の社長や社員など  
【連絡先 TEL FAX】  
(本冊子p171～参照)

板書の例



参考資料

# 住んでいるまちの 付加価値を考えよう!

**1** 自分の住むまちを活性化するためどのような商品・サービスを考えますか？  
まず、ゴムを使っているモノをあげてみよう。

---



---



---

**2** 輪ゴムはいくらか、計算してみよう！

(1) 1箱100円の輪ゴム、1箱にいくつ輪ゴムが入っているか考えよう。

予想		本	実際		本
----	--	---	----	--	---

(2) 輪ゴムは1本いくらだろう。

100(円) ÷		(本)		(円)
----------	--	-----	--	-----

**3** あなたがゴム会社の社長だったらどんな工夫をしてもっとゴムを売りますか？

(1) 「改良」による方法～タイヤから考えてみよう!～

(2) 「代替」による方法～ゴムを使っていないものにゴムが使えたら～



【総合的な学習の時間】 No.4 未来を設計する力

# 人生曲線を描いてみる

**ねらい**

- ◆ 自分の過去を振り返り、それがどのような意味をもつできごとであったかを再認識する。
- ◆ 自分の将来を考え、めあてをもって生きることが大切だと知る。



3つの力のうちの【未来を設計する力】

**リテラシー**

■ シミュレーション

**授業の流れ**

人生曲線を描いてみる

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
20分	<p>○今までの人生曲線を描こう</p> <p><b>個人で考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私の人生における重大なできごと」を考えて、ふせんを書く</li> <li>・ふせんを、ワークシートに貼り付け、人生曲線を完成させる</li> </ul> <p><b>グループで考える(交流)</b></p> <p>仕上げた人生曲線について友達と交流する</p>	<p>●教師自身の人生曲線を黒板に貼り、説明する</p> <p>●「喜び・苦勞・がんばったこと・友達との出会い」などの観点を参考にさせる</p> <p>・それぞれのできごとが、自分にとってプラスになったのか、マイナスになったのか、変わらないのかを考えさせる</p> <p>●価値観がそれぞれ違うことの大切さを伝える</p>	<p>★観点の一覧を黒板に貼る</p> <p>★ふせんを曲線でつないでいき、人生曲線を完成させる</p> <p>★何人かに簡単に発表してもらおう。生徒の人生曲線は実物投影機でうつす</p>
10分	<p>○ゲストティーチャーの話を聞こう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活や就職活動で苦勞した話などを聞く</li> </ul>	<p>●ゲストティーチャーは自分の好きなことを追究して、職場を選んだということを伝える</p>	<p>★事前にゲストティーチャーと打ち合わせをしておく</p> <p>★身近な人でも様々な苦勞を重ねてきていることを伝える</p>
15分	<p>○自分の将来を考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから先の人生におけるの夢や希望を書く</li> <li>・これから、どのようなことがおこるのかを想定する</li> </ul>	<p>●「高校・大学・就職・結婚」などの観点を参考にさせる</p> <p>・生徒たちが生きているのは12・13年間で、この先の人生はさらに長いことを伝える</p> <p>・自分の未来を想像する中で、何かひとつ現実性のある目標をもたせる</p>	<p>★観点の一覧を黒板に貼る</p> <p>★将来、自分が働くであろう期間を考えさせる</p> <p>★人生の大半が働いていることに気付かせ、職業選択の重要性を理解させる</p>
5分	<p>○人生曲線を描き、将来設計を考えた授業で気付いたことや感想を書こう</p>	<p>●感想を記入させたあと、何人かの生徒の意見を聞き、交流する</p>	

## 準備

- ◆ 教師の人生曲線（模造紙などにあらかじめ書いておく）
- ◆ ふせん
- ◆ 実物投影機等

## ゲスト

- ◆ 大学生等

## 板書の例

### 人生曲線を描いてみる

- ★私の人生における重大なできごと  
よい思い出 いやな思い出
- ★ゲストティーチャーの話を聞こう  
○○さん
- ★自分の将来を考えてみよう！

教師の人生曲線・人生曲線の  
観点表・将来設計の観点表を  
貼る

## 参考資料

■「わたし 出会い 発見」(40. わたしの人生における重大な出来事) 大阪府同和教育研究協議会編(1996年発行)

○人生曲線を描くときの観点表

☆親	☆頑張ったこと
☆身内の死や結婚	☆後悔していること
☆苦勞	☆本
☆喜び	☆友達・先生との出会い
☆病気やケガ	

○将来設計をするときの観点表

☆夢・希望	☆家族
☆高校・大学	☆苦勞
☆仕事	☆喜び
☆結婚	

■「動詞から考えるキャリア教育・進路指導」 大阪府教育委員会(2008年発行)

【総合的な学習の時間】 No.5 未来を設計する力

今までなかった仕事をつくる ～13歳のハローワーク～

ねらい

- ◆ 自分の興味や関心をもとに、将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい新しい仕事を考える。



3つの力のうちの【未来を設計する力】

リテラシー

- ブレインストーミング

授業の流れ

今までなかった仕事をつくる

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
10分	○自分の好きなことと特に好きなことを3つ選ぼう	●自分の好きなことをできるだけたくさん書き出すようによびかける	★できるだけたくさんあげる
35分	○好きなことにかかわる仕事を考えてみよう <b>個人で考える</b> 好きなこととかかわりのある仕事を見つける <b>グループで考える(交流)</b>	●好きなことにかかわる仕事を見つけだす例を提示する  ●仕事(職種)についての知識が少ないので、大人にどんどん聞いてみるようによびかける	★13歳のハローワークマップを掲示し、参考にする  大学生や保護者などにグループに入ってもらい、様々な職種があることをアドバイスしてもらう
	○他のメンバーの内容を聞いて、仕事とのかかわりを考える  ○今までなかった仕事をつくらう	●ワークシートの例を参考に、今までなかった仕事を考えることを伝える  2つの仕事を組み合わせることで新しい仕事に発展できることを例示する	★旅行業者と介護で介護つき旅行会社  今までなかった仕事をしているゲストを呼んだり、事例を紹介する
5分		●意見を記入させた後、何人かの生徒の意見を聞き、交流する	

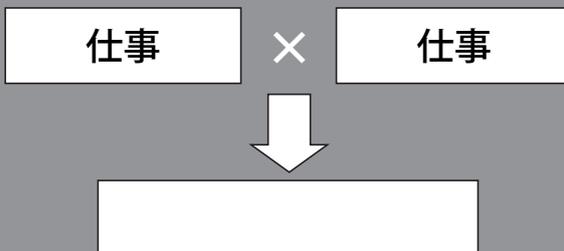
- ◆ 13歳のハローワークマップ（巻末ページ参照）

- ◆ アドバイザーとして、大学生、保護者など
- ◆ 新しい仕事を生み出し活躍している起業家

### 今までなかった仕事をつくる

- ① 好きなこと
- ② 仕事どうしのつながり

#### 新しい仕事



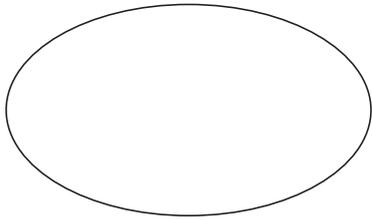
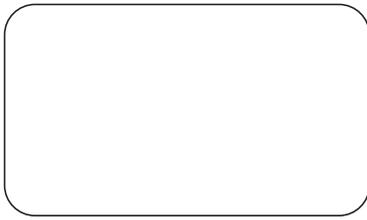
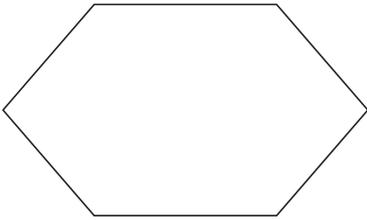
13歳のハローワークマップ

- 13歳のハローワークマップ  
「13歳のハローワーク」公式ホームページURL <http://www.13hw.com>
- 「動詞から考えるキャリア教育・進路指導」大阪府教育委員会（2008年発行）

# 今までなかった仕事をつくる ～13歳のハローワーク～

1 自分の好きなことを書き出してみよう。

2 特に好きなことを3つ選ぼう。



3好きなことにかかわる仕事を考えてみよう。

